

# めざせ8020withぞうのしんちゃん

## ～玖波小学校でフッ素洗口が始まったゾウ～

問い合わせ 社会健康課 ☎2153



健康増進キャラクター ゾウのしんちゃん

3年1組担任の西本先生と、養護教諭の足立先生にお話を伺いました。

### Q 取り組むようになったきっかけは？

A 大竹市内で何校かフッ素洗口を実施していますが、本校でも子どもたちのむし歯予防に対する意欲を向上させるきっかけの一つになればと思い、取り組むことを決めました。

### Q 今後工夫しようと思っていることは？

A 児童が洗口している間に、健康クイズを出題して考えてもらおうと、気が紛れるし、知識も深まるかなと思っています。

安全性を保ちながら正しくフッ素を利用し、「むし歯がないまちおおたけ」を目指していきましょう。

今年10月から、玖波小学校3年生希望者24人を対象に、フッ素洗口が始まりました。

3年1組の教室では、毎週火曜日朝の会終了後、着席している児童たちが配布されたフッ素素液で1分間洗口します。

始まったばかりでもあり、静まり返った中、緊張した面持ちで、黙々と洗口していました。終了後、口の中の洗口

液は自分の紙コップに出して、廊下の手洗い場に流しに行きます。これは皆が一度に手洗い場を利用できないので工夫したところですよ。

数人に感想を聞いてみると、児童たちは、口々に「にが」「まずい」などを連発していました。どうやらおいしくはなさそうですね。

本市では、多くの保育所、一部の小学校がフッ

素洗口に取り組んでいます。長年のフッ素洗口の効果もあり、市内の小生、中学生の一人当たりのむし歯は広島県下でもかなり少ない数字となっています。

フッ素は歯を強くし、むし歯予防に効果的です。取り組む方法は、歯科医院で1年間に3～4回のフッ素塗布のほか、フッ素入り歯みがき粉を使った歯みがきやフッ素洗口などがあります。

